

# 国労の旗を守りぬく

## 退職者の皆様と語る会

# 国労水戸

国労水戸地方本部  
 水戸市中央1-1-11  
 ENYビル2F  
 029-221-4008  
 発行責任者 菊池忠志  
 編集責任者 坂本公則



2014年度退職者の皆様と語る会は、多くの退職者を迎える中で6月1日(日)、水戸市内ホテルで盛大に行われました。語る会には、退職者及び執行委員・分会代表者・各職能別協議会議長・東日本本部委員長・退職者の会などが出席し、退職者の皆さんと和やかな一日を過ごし語り合いました。

主催者を代表し菊池委員長は、多くの闘いに継ぐ闘いに敬意を表する伴に、国労水戸地方本部を今日まで支えて頂いたことに感謝を述べ挨拶としました。

**職場・地域の活動に自信を持ち、引き続き、組織拡大に全力をあげよう!**

退職者の皆様と語る会は、水戸市内ホテルで12時から開催され、増副委員長の司会で始まり、地方本部菊池委員長が退職者へお礼の挨拶を行い、来賓に東日本本部松井委員長が駆け、退職者の皆さんへ「ご苦労さまでした」と労う挨拶を行いました。

退職者は、それぞれ5箇所のテーブルに別れ、後輩との歓談を過ごしながら、分割・民営化の闘いや、安全・安定輸送確保のため昼夜を問わず奮闘した事など、思い思いを語る様子が見られました。

また、会の中ほどには一人一人へ感謝状が手渡され、エルダー制度で再雇用の職場で頑張っていると報告され、国労運動で培った取り組みを今も継続して来ていると語り合っていました。

**高木道治氏から謝辞**  
 退職者を代表し、元電気協議会議長を務めた高木道治氏から謝辞を頂きました。

謝辞の挨拶で国労運動に触れ、今日まで組織で頑張ってきたのは、多くの組合員から支えられてきたからです。

JR不採用問題の闘いを始め、多くの労働運動で苦楽を共にしてきた事を報告し、闘いを通じ仲間や組織を大切すること、そしてなによりも国労の旗を守ってきたと述べ、地方本部は私達の心のふる里ですと挨拶を行いました。

今後は、それぞれの道を選択するなかで、引き続き地域でも奮闘し、国労で培った運動を皆さんへ返していきたいと謝辞を締めくくりました。



まずと挨拶しました。いろいろと悔しい思いもしてきましたが、国労で貰ってきたことが私の宝です。引き続き国労の一員でありたいと挨拶され、退職しても仲間を思う気持ちはけっして変わることはないと言っていました。

**「特別な思いを語る飯島薫さん」**  
 60歳で退職を迎えた飯島薫さんは、松田土浦地区分会長と胸中を語り合い、言葉をつまらせないながら自分の思いを涙ながらに話していました。国鉄時代から青年部で先頭に立ち、国労運動に参加し頑張ってきた思いもあり、今日で退職を迎えることは残念ですが、国労運動の何かに役立てたいと語っていました。

